

「オンライン留学終了報告書」

学部・学科: 国際学部・国際学科・東アジア専攻

留学先大学: 上海大学(中国) (オンライン)

授業期間(9月13日～1月7日)

使用 APP 微信(Wechat) 唐風平台 腾讯会議(VooV)

4 か月間のオンライン留学に参加して最も感じたことは、言語を通して世界の人と繋がることのできることだ。新型コロナウイルスの影響で中国に入国できず、当初予定していなかった中国語学習コースへの参加となったが、そこで学んだことは価値のあるものだった。私が参加したのはレベル別クラスの HSK5 級・6 級を目指す一番上のクラスだ。そこでは環境は違えど、ある程度中国語を勉強してきた留学生ばかりであった。私のように言語を専門としている学生や、すべて独学の人、中国で英語教師経験のある人などなどである。毎日 4 時間も中国語に触れる機会があり、先生の話の聞いているだけでもリスニングを伸ばせると感じた。また少人数制だったので、私たちが発言できる機会も多くてかなり会話の練習になる。その中で私が最も気に入っていた活動はグループディスカッションである。テーマは私たちの生活や文化的なもので、この中国語でのグループディスカッションを通して他の国の文化習慣を知ることができた。留学では言語を学ぶことが最も大きな目的だが、このような文化交流が最も大きなモチベーションになると感じた。このモチベーションは今後、私が社会に出てからも中国語を活用して、自分の目標に向かって努力していく際に役立つだろう。

後輩へのアドバイス

オンライン留学は現地で授業を受けることに比べて、意志の強さが必要だと思います。顔が見えていない状況だと、自分からマイクをつけて発言することが更に億劫になりがちです。しかし、言語の力を伸ばすには積極的に授業に参加し、発言することが大切だと思います。私も初めは勇気がなく、ほかの留学生たちに置いていかれているような気がしました。どうやって克服したかという、授業時間外の交流です。オンライン留学のため、放課後に一緒に遊びに行ったりすることができません。そのため私はわからない問題があれば、ほかの留学生に質問したりして、逆に教えてあげたりと仲を深めようと思いました。こうすることで、遠く離れた他の留学生も友達のように気軽に授業内で発言できるようになるのではないかと思います。また留学生との交流だけでなく、毎日習った文法や単語を使ってみることが大切です。毎日 4 時間週 5 で中国語を学習しているとノートにはたくさんの新しい知識が溜まっていますが、これを自分のものにしなければ意味がないと思います。現地留学ができていればこの運用ももっと容易にできたと思いますが、オンライン留学では自分で機会を作らないといけません。そこで私の場合は中国人の友人と会話やメッセージを送る際に、無理やりにでも使ってみることを心掛けました。

このようにして、私は 4 か月のオンライン留学を意味のあるものにしました。